

# キケマン

*Corydalis heterocarpa* Siebold et Zucc. var. *japonica* (Franch. et Sav.) Ohwi  
ケシ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では海岸で確認され生育地は限定されている。海岸環境の激変で生育地、個体数ともに減少しているため、今回新たに準絶滅危惧とした。

## 分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布する。県内では高浜町、おおい町、小浜市、若狭町、越前市、坂井市、福井市で確認されている。

## 種の特徴

海岸や低地の草地、荒地に生える。茎は高さ40～80cmになる。葉は2～3回複葉で、小葉は深裂する。花期は4～6月。茎の先端に長い総状花序を出し、黄色い花を多数つける。花は長さ15～20mm、距は短い。蒴果は狭披針形で、種子はほぼ2列に並ぶ。

## 生育を脅かす要因

海岸開発、産地局限、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○		○						○	○					○

# ナガミノツルケマン

*Corydalis raddeana* Regel  
ケシ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

ツルケマンの変種で、県内での確認は2地区のみである。生育環境が開発の影響を受けやすく絶滅が危惧される。

## 分 布

北海道～九州に分布する。県内では勝山市、大野市で確認されている。

## 種の特徴

山中の半日陰地にやや稀に生える。全草はやわらかで毛がなく、茎は稜があり、よく伸びて分枝する。葉を互生し、柄があって3角形。苞が多少幅狭く、小型で幅2～5mm。蒴果は線状倒披針形、種子はほぼ1列に並ぶ。花は8～10個開き、淡黄色。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、自然遷移。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

# アズマシロカネソウ

*Dichocarpum nipponicum* (Franch.) W.T.Wang et P.K.Hsiao  
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は7箇所である。本県が分布の南限になっており、県内での生育地が県北部に限られているため、県域準絶滅危惧とした。

## 分 布

本州の日本海側（秋田県～福井県）に分布する。本県では、坂井市、あわら市、勝山市、大野市、福井市で確認されている。

## 種の特徴

山地のやや湿ったところに生える多年草。根茎は短く、匍枝は出さない。茎の高さは10～25cm。基部には根出葉はつけないか、つけてもふつう1枚。花は半開し、やや垂れ下がって咲く。閉鎖花をつけない。種子は平滑。

## 生育を脅かす要因

生育地の森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。本県は分布の南限で、もともと個体数が少ない。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○		○		○	○	○